

理科	1 年	年間 105 時間（3 時間/週）
----	-----	-------------------

1 年間計画

学期	月	単元	章（小単元）
1 学 期	4	いろいろな生物とその共通点	生物の観察と分類のしかた 植物の分類 動物の分類 探究活動 ・パフォーマンス課題「分類表をもちいて身近な生物を分類する。」（レポート） 単元の振り返り
	5		
	6		
	7	身のまわりの物質	身のまわりの物質とその性質 ・パフォーマンス課題「ガスバーナーの使い方」 気体の性質 水溶液の性質 物質の姿と状態変化 探究活動 ・パフォーマンス課題「身のまわりの現象について、学んだことを使って説明する。」（レポート） 単元の振り返り
2 学 期	8		
	9		
	10		
	11	身のまわりの現象	光の世界 音の世界 力の世界 探究活動 ・パフォーマンス課題「日常生活のなかの力について、学んだことを使って説明する。」（レポート） 単元の振り返り
	12		
3 学 期	1	大地の変化	火をふく大地 ・パフォーマンス課題「未知の火成岩を見分ける。」 動き続ける大地 地層から読みとる大地の変化 探究活動 ・パフォーマンス課題「活用問題に取り組み、大地の変化に関する理解を深めよう。」 単元の振り返り
	2		
	3		

2 学習評価

観点	評価規準	評価の方法	
		形成的評価(日々)	総括的評価(通知表)
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	☐ ノートやデジタル成果物 ☐ eライブラリ	☐ 定期テスト ☐ 単元末テスト ☐ パフォーマンス課題
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している	☐ 観察、実験レポート ☐ ノートやデジタル成果物 ☐ 学級やグループでの発言	☐ パフォーマンス課題 ☐ 定期テスト・単元末テストの探究的問題
主体的に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	☐ 授業での発言やつぶやき ☐ 振り返り	☐ パフォーマンス課題 ☐ ノートの工夫(考え・きづきをメモ) ☐ 自由研究等の自主的な研究成果物(加点)

○形成的評価…日々の学習において、成果(できたこと)や課題(できなかったことや次に目指すこと)をつかみ、復習したり次の学習に課題をもって取り組んだりするための評価

○総括的評価…各学期や年間をととしての学習の成果がどの程度であったかを示す評価

○通知表の評定について…3観点を総括して、5～1の5段階で示す

3 学習のポイント

○教科書(「新しい科学1」(東京書籍))、ノート、タブレットを毎時間準備します。

○B5版のノートを準備してください。(ワークシートを貼るためにのりの準備もお願いします。)

○授業は、基本的に学級教室で行います。理科室で行う場合は前日までに学習係を通して連絡します。

○基礎的な知識を身に付けるためには、授業における「問題」は何か、その問題を解決するためにどのような「見通し」をもてばよいのか読み取ることが望ましいです。各単元の各章の始めにある「？」を確認し、見通しを立てて学習に臨みましょう。また、ノートは、黒板を書き写すだけでなく、考えたことや気づいたことを余白にメモをするなど工夫をすると良いです。

○学んだことを定着するには、「復習すること」が効果的です。ワークを用いて知識が定着しているかを確認してみましょう。また、eライブラリでの学習は、短時間であっても基礎的な知識の定着に効果が上がります。まずは、取り組みやすいと感じるものから行っていきましょう。

○観察・実験毎や各単元末に、パフォーマンス課題を位置付けています。これは、学んだことをもとに、探究的な課題に取り組みレポートを作成したり、探究的な問題(授業で学習した内容を活用する問題)に取り組んだりします。総括的評価の「思考・判断・表現」は、主としてこれらをもとに評価します。